

2025 年度 事業報告書

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

I 事業実施の成果

2025 年度は、4 月に新拠点への移転を実施するとともに、盛岡ユースセンターと盛岡市中央公園内のフリースクール blanket の二拠点での運営が始まった一年となりました。子どもたちにとって大きな環境の変化がありましたが、多くの子どもたちは新しい環境を前向きに受け入れ、それぞれのペースで新たな日常を築いていきました。

盛岡ユースセンターと blanket の 2 拠点で、小学生 11 名、中学生 22 名、高校生 14 名の計 47 名を受け入れました。日常の学習支援に加え、自然体験や職業体験、地域との交流活動など、多様な学びの機会を提供しました。また、中学部では盛岡ユースセンターとして初めての修学旅行を実施し、子どもたちの主体性や協働性を育む機会となりました。

保護者支援としては、茶話会や「blanket カフェ」を継続的に開催し、不登校や子育てについて学び合い交流できる場づくりを行いました。また、講演活動や大学での講義、行政との連携、県内外からの視察受け入れなどを通じて、不登校支援やフリースクールの実践を広く発信しました。

さらに、いきいき岩手支援財団「いわて保健福祉基金助成金」及び Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs 国内助成に採択され、次年度以降の組織基盤強化に向けた準備を進めることができました。

新拠点への移転と 2 拠点運営の開始という大きな変化の中にありながらも、子どもたち一人ひとりの日常を大切にし、安心して過ごせる居場所づくりと多様な学びの機会の充実に取り組んだ一年となりました。

(I) 総合教育事業

1, 盛岡ユースセンター

2025 年度に在籍及び利用があった児童・生徒数は 47 名でした。内訳は、小学生 11 名、中学生 22 名、高校生 14 名です。4 月には新拠点への移転を行い、より開放的で明るい環境の中で活動を開始しました。子どもたちは新しい環境にも自然に馴染み、それぞれのペースで安心して過ごすことができました。

日常の活動では、一人ひとりの状況や目標に応じた学習支援を行いました。通信制高校のレポート学習やスクーリング、高卒認定試験対策に取り組む生徒を支援したほか、新たに学習時間を設け、学ぶ楽しさや達成感を味わえる機会づくりにも取り組みました。高校生はレポート提出や試験、進学に向けた受験勉強にも励み、それぞれの進路実現に向けて歩みを進めました。

体験活動では、地域とのつながりを活かした多様な学びの機会を提供しました。大久保農園でのりんごの花摘みやりんご狩り体験、星山えほんの森保育園での田植え体験を実施したほか、都南つどいの森での野外活動を毎月継続して行いました。山菜採りや真竹採取、

流しそうめん、シャワークライミング、カレーづくりなど、季節ごとの自然体験を通して、子どもたちは仲間と協力しながら豊かな経験を積むことができました。

また、新拠点から近くなった岩手大学へ足を運び、学食利用やキッチンカーマルシェへの参加を行いました。大学を身近に感じる機会となったほか、将来の進学や学生生活について考えるきっかけにもなりました。

キャリア教育や職業体験にも力を入れました。キャリアプロデュース株式会社桑名暢氏を講師に迎えたキャリア講話を実施したほか、ゲームクリエイターによるインディーゲーム体験、キッチンカーでのクレープづくり体験などを行い、さまざまな仕事や生き方に触れる機会を提供しました。また、花巻方面への遠足やわんこそば体験など、地域文化に親しむ活動も実施しました。

中学部では、盛岡ユースセンターとして初めての修学旅行を実施しました。行き先選びから子どもたち自身が話し合いを重ね、一泊二日の東京旅行を実現しました。計画づくりから当日の行動まで主体的に取り組み、仲間との協力や新たな経験を通じて大きく成長する機会となりました。

そのほか、文化祭やクリスマス会、忘年会、卒業を祝う会など季節ごとの行事も実施しました。卒業式には卒業生や卒業スタッフも駆けつけ、在校生とともに門出を祝いました。笑顔と涙があふれるユースセンターらしい温かな式となり、それぞれがこれまでの歩みを振り返りながら新たな一歩を踏み出しました。

2、フリースクール blanket 事業

2025 年度は、盛岡市中央公園内にあるフリースクール blanket の運営を引き継ぎ、新たな体制で事業を開始しました。年間利用者数は小学生 6 名、中学生 5 名の計 11 名でした。運営主体の変更に伴い、利用者や保護者にとっては大きな環境の変化となりましたが、前年度から関わっていたスタッフを中心に運営を継続するとともに、盛岡ユースセンターのスタッフも加わりながら、安心して過ごせる環境づくりに努めました。

blanket では「子どもの『やりたい』を真ん中に」を大切にしています。毎日の活動は子どもたち自身が話し合いながら決め、計画を立てて実践しています。目の前に広がる中央公園の豊かな自然環境を活かし、季節を感じながら外遊びを楽しむ時間を日常的に設けました。夏には草花や虫との出会いを楽しみ、冬には雪遊びを満喫するなど、自然の中で過ごす時間が子どもたちの成長を支えています。

活動の一つとして、施設前の畑を 2 区画借り、季節ごとの野菜づくりに取り組みました。種まきから収穫まで継続して関わることで、自然の営みや食への関心を深める機会となりました。また、子どもたちの発案から生まれた「チャリ部」では、自転車での遠出や地域探検を行い、「ポケ部」ではポケモンカードを通じて交流を深めるなど、子どもたちの興味や関心から活動が広がっていきました。

そのほか、夕涼み会やお泊まり会、調理活動など季節ごとの行事を実施したほか、ビバテラス内の飲食店等での職業体験も行いました。地域の方々と関わりながら実際の仕事を体験することで、働くことへの興味や社会とのつながりを感じる機会となりました。

年度当初は新しいスタッフとの関係づくりや運営体制の変化がありましたが、大人が心配したほどの混乱はなく、子どもたちは少しずつ新しい環境に慣れていきました。人見知りをしていた子どもたちも徐々に関係性を築き、新しく入会した子どもや体験利用の子ども

に声をかけたり活動を案内したりする姿も見られるようになりました。子どもたち同士が互いを受け入れ支え合う姿に、一年間の成長を感じることができました。

(2) 相談事業

2025 年度の相談件数は、電話による相談が 12 件、資料請求が 52 件、来校による相談が 72 件（135 名）でした。blanket の事業継承に伴い、小学生年代の問い合わせが増加しました。また、高等部への問い合わせは本人や保護者だけでなく、中学校からの相談も多く寄せられました。

不登校や進路、学習環境など相談内容は多岐にわたり、一人ひとりの状況に応じて情報提供や見学対応、体験利用の調整などを行いました。

(3) 教育支援事業

センター長尾形が外部の団体向けに講師を務めてフリースクールの説明会をしたり、行政との関わりとして盛岡市こども相談室の評価委員、県内外からの視察受け入れなどが多くありました。

- ・ 5/13 栃木県議視察
- ・ 5/20 千葉市議講演会で尾形講話
- ・ 6/26 第一回盛岡市こども相談室 評価委員会 2024 年度から評価委員として尾形が出席
- ・ 6/27 岩手県立大学にて尾形が講義
- ・ 7/7 盛岡大学にて尾形が講義
- ・ 7/18 岩手県不登校フォーラム
- ・ 7/24 岩手県不登校対策会議
- ・ 7/25 岩手大学にて尾形が講義
- ・ 8/2 花巻市合同進路説明会（尾形）
- ・ 9/2 第二回盛岡市こども相談室 評価委員会
- ・ 9/13 NPO 法人もりおかユースポート主催「もうひとつの進路合同説明会」
- ・ 9/27 こどもの学ぶ権利シンポジウム（滝沢市）尾形
- ・ 11/14 第三回盛岡市こども相談室 評価委員会
- ・ 11/17 視察受け入れ（秋田県大潟村）
- ・ 11/20 盛岡大学の学生へ zoom 講義（菅原）
- ・ 12/15 盛岡大学の学生へ blanket について講義（菅原）
- ・ 1/28 岩手大学にて尾形が講義
- ・ 1/30 第四回盛岡市こども相談室 評価委員会

【不登校セミナー等】

フリースクール blanket スタッフが主催し「blanket カフェ」として不登校セミナーと若者の働く場支援を行いました。

- ・ 5/10(土) NPO 法人紫波さぷり 細川恵子さん

- 「楽しい子育て～ペアレントトレーニングの実践～」参加者 12 名
- ・ 7/5(土) みちのく療育園メディカルセンター 川村みやこ先生
- 「こどもの歩みに伴走する」参加者 11 名
- ・ 9/6(土) 心理臨床オフィスすがわら 菅原憲先生
- 「学校に行かない」を歩む子どもたち 参加者 13 名
- ・ 11/8(土) 発達障がい者相談支援センター「ウィズ」長葭康紀先生
- 「なんとかなる」へ伴走する 参加者 18 名
- ・ 2/21(土) 障害者地域生活支援センター「しんせい」田代拓之所長
- 「卒業までに身に付けておきたいこと・知っておきたいこと」 参加者 17 名
- ・ 3/7(土) キズキ教育塾不登校相談員 伊藤麻依さん
- 「いつからでもチャレンジできる！学びと進路について
～その人の「今」からをサポートし、人生を応援する～ 参加者 9 名

【茶話会（保護者会）】

在籍生だけでなく子どもの不登校でお悩みの保護者の方を対象に、毎月実施（主に最終土曜日）。2025 年度は 10 回開催し、のべ 79 名（昨年度 43 名）の方にご参加いただきました。

毎回ゲストスピーカーをお招きしており、不登校のお子さんのホームスクーリングを経験された方や、不登校経験のある大学生、スクールソーシャルワーカーの方、卒業生の保護者さんなどにお話しいただきました。毎月スタッフも数名ずつ参加し、保護者の方の経験や想いお聞きし、学びにつなげています。

【盛岡市と岩手県の教育委員会主催の不登校対策会議に参加】

フリースクールの立場からの子どもの学びと育ちを紹介し、こどもの権利の視点から支援の重要性を訴えました。行政との連携を進めながら、公的な経済支援の実現に向けた働きかけを続けています。

- ・ 7/18(金)岩手県教育委員会主催、不登校支援フォーラム 2025」にて、フリースクール活動紹介（尾形・戸塚）
- ・ 7/24(木)盛岡市教育委員会主催、不登校対策会議
- ・ 11/25(火)岩手県教育委員会主催、不登校児童生徒支援連絡協議会および不登校支援フォーラム 2025Ⅱ 参加。

【岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学との連携】

岩手大学

・4/30(水) 「不登校に理解のある教員を一人でも多く養成する」という思いを持つ本山理事が岩手大学で担当する、教育学部の「教育学演習」の中で、盛岡ユースセンターを会場としてフリースクールについての講義を実施。10 名が受講し、その後、希望者には、ボランティアスタッフとして、フリースクールの日常を体験してもらいました。

・7/25(金)、1/28(水)

本山理事からの依頼で、一般教養科目「教育学」にて前期と後期で 1 回ずつ、ゲスト講師として、フリースクールや不登校の理解支援について尾形が講義

岩手県立大学

・6/27(金) 川原直也先生からの依頼で、基盤教育科目「地域社会とボランティア」にて「教育とボランティア」をテーマにゲスト講師として尾形が講義。

盛岡大学

・7/7(月) 新沼史和先生からの依頼で、「教育実習事前事後指導」の特別講師として、教員志望の学生向けに、フリースクールや不登校の理解支援について尾形が講義。

2 事業実施に関する事項

【特定非営利活動に係る事業】

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
総合教育事業	基礎学力サポートコース (小・中学生の不登校生等への学習等の支援)	通年	盛岡市	16人	【盛岡ユースセンター】 小5 1名 小6 1名 中1 6名 中2 7名 中3 5名 【blanket】 小2 2名 小3 2名 小4 1名 小5 2名 小6 2名 中1 4名	16,683
	通信制高校サポートコース	通年	盛岡市	17人	高1 4名 高2 1名 高3 4名	
	高卒認定合格サポートコース	通年	盛岡市	17人	5名	
相談事業	電話による相談	通年	盛岡市	2人	12件	0
	面談による相談	通年	盛岡市	2人	135名 (72件)	
教育支援事業	不登校セミナー (blanket カフェ)	6日	盛岡市	4人	80名	534
	保護者のための茶話会	10日	盛岡市	12人	79名	

貸借対照表

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター
全事業所

[税込] (単位：円)
2026年 3月31日 現在

科目	金額		
《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	110,450		
普通預金	4,951,999		
現金・預金計	5,062,449		
(その他流動資産)			
立替金	124,248		
他社商品券	16,300		
その他流動資産計	140,548		
流動資産合計		5,202,997	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物付属設備費	1,100,000		
減価償却累計額	△ 67,558		
有形固定資産計	1,032,442		
固定資産合計		1,032,442	
資産の部合計			6,235,439
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	1,089,333		
預り金	194,022		
流動負債計		1,283,355	
負債の部合計			1,283,355
《正味財産の部》			
【正味財産】			
前期繰越正味財産額	4,041,696		
当期正味財産増減額	910,388		
正味財産計		4,952,084	
正味財産の部合計			4,952,084
負債・正味財産合計			6,235,439

財 産 目 録

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター
全事業所

[税込] (単位：円)
令和8年 3月31日 現在

科目	金額		
《資産の部》			
【流動資産】			
（現金・預金）			
現 金	110,450		
普通 預金	4,951,999		
東北銀行	(163,842)		
ゆうちょ銀行（振替）	(1,989,740)		
ゆうちょ銀行	(878,981)		
北日本銀行（普通）	(1,918,436)		
岩手銀行	(1,000)		
現金・預金 計	5,062,449		
（その他流動資産）			
立 替 金	124,248		
他社商品券	16,300		
その他流動資産 計	140,548		
流動資産合計		5,202,997	
【固定資産】			
（有形固定資産）			
建物付属設備費	1,100,000		
減価償却累計額	△ 67,558		
有形固定資産 計	1,032,442		
固定資産合計		1,032,442	
資産の部 合計			6,235,439
《負債の部》			
【流動負債】			
未 払 金	1,089,333		
預 り 金	194,022		
流動負債 計		1,283,355	
負債の部 合計			1,283,355
正味財産			4,952,084

活 動 計 算 書

[税込] (単位 : 円)

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター

自 令和7年 4月 1日 至 令和8年 3月31日

科目	金額		
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費		26,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		2,434,422	
【受取助成金等】			
受取助成金		2,015,627	
【事業収益】			
事業 収益	15,003,000		
その他事業収益	1,119,510	16,122,510	
【その他収益】			
受取 利息		3,048	
経常収益 計			20,601,607
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	10,956,694		
臨時雇賃金	89,000		
法定福利費(事業)	967,212		
福利厚生費(事業)	26,871		
人件費計	12,039,777		
(その他経費)			
業務委託費(事業)	450		
諸 謝 金(事業)	130,881		
印刷製本費(事業)	155,772		
会 議 費(事業)	46,928		
旅費交通費(事業)	701,575		
通信運搬費(事業)	450,642		
体験活動費(事業)	828,486		
消耗品 費(事業)	690,347		
通学支援金	287,100		
修 繕 費(事業)	148,500		
水道光熱費(事業)	373,854		
地代 家賃(事業)	695,778		
減価償却費(事業)	67,558		
保 険 料(事業)	161,539		
研 修 費(事業)	184,569		
支払手数料(事業)	242,154		
新聞図書費(事業)	3,097		
租税公課 (事業)	1,005,322		
雑 費(事業)	8,400		
その他経費計	6,182,952		
事業費 計		18,222,729	
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	1,217,410		
人件費計	1,217,410		
(その他経費)			
水道光熱費	41,146		
地代 家賃	81,081		
リース 料	7,150		
租税 公課	111,703		
雑 費	10,000		
その他経費計	251,080		
管理費 計		1,468,490	

活 動 計 算 書

[税込] (単位：円)

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター

自 令和7年 4月 1日 至 令和8年 3月31日

科目	金額		
経常費用 計			19,691,219
当期経常増減額			910,388
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			910,388
当期正味財産増減額			910,388
前期繰越正味財産額			4,041,696
次期繰越正味財産額			4,952,084

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日 2017 年 12 月 12 日最終改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

2. 受取助成金等

2025 年度における受取助成金の内訳については、下記の通りです。 （単位：円）

一般財団法人 BNI 財団ジャパン	285,627
公益財団法人 いきいき岩手支援財団 「いわて保健福祉基金助成金」	230,000
Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs [国内助成]	1,500,000
計	2,015,627

３．事業費の内訳

事業費の内訳は、以下のとおりです。

科目	総合教育事業	相談事業	教育支援事業	計
(１) 人件費				
給料手当	10,773,526		183,168	10,956,694
臨時雇用賃金	0		89,000	89,000
法定福利費	967,212		0	967,212
福利厚生費	26,871			26,871
人件費計	11,767,609		272,168	12,039,777
(２) その他経費				
業務委託費	450		0	450
諸謝金	0		130,881	130,881
印刷製本費	148,872		6,900	155,772
会議費	3,568		43,360	46,928
旅費交通費	699,900		1,675	701,575
通信運搬費	450,642		0	450,642
体験活動費	755,173		73313	828,486
消耗品費	684,328		6019	690,347
通学支援金	287,100		0	287,100
修繕費	148,500			148,500
水道光熱費	373,854		0	373,854
地代家賃	695,778		0	695,778
減価償却費	67,558		0	67,558
保険料	161,539		0	161,539
租税公課	1,005,322		0	1,005,322
研修費	184,569		0	184,569
支払手数料	242,154		0	242,154
接待交際費	0		0	0
新聞図書費	3,097		0	3,097
雑費	8,400		0	8,400
広告宣伝費	0		0	0
リース料	0		0	0
その他経費計	5,920,804		262,148	6,182,952
合計	17,688,413		534,316	18,222,729

4. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

科目	財務諸表に計上 された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支 配法人等との取引
(活動計算書) 事業費 人件費 給与手当	10,956,694	4,216,674	2,846,259
(活動計算書) 管理費 人件費 給与手当	1,217,410	468,519	316,251
(活動計算書) 事業費 業務委託費	450	0	450

(単位：円)